



第1回

生活文

日 分 分
月 時 時

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

花子さんが学校から帰ってくると、お母さんが待ちかねたように「ちよつとおつかいをしてちょうだい」と言いました。話を聞くと、お母さんは自分の友だちからセーターを編むことをたのまれていて、^①でき上がったものを今日、届けることになっていました。^②A、急にお母さんのお母さんが足をくじいて動けなくなったので、^③すぐに来てほしいと言われ、そちらへ行かなければならなくなりました。お友だちは明日から、そのセーターを着て旅行に行くということなので、どうしても今日中に届けなければなりません。花子さんも知っている相手なので「はい」と言って行くことにしました。

(1) A にあてはまる言葉を次から選び、記号で答えなさい。

A だから I そうして U やはり E ところが ()

(2) お母さんの言う「おつかい」とは、どんなことですか。次から選び、記号で答えなさい。

A 出かけるので留守番をすること
I お母さんの代わりにおばあさんの所へ行くこと
U お母さんの代わりにお友だちの所へ行くこと
E お母さんと病院へ行くこと

()

(3) 線①「でき上がったもの」とは、何ですか。文中から四字でぬき出しなさい。

()

(4) 線②「すぐに来てほしい」と言った人は、だれですか。次から選び、記号で答えなさい。

A お友だち I お母さん U おばあさん E 花子さん

()

(5) 届けるときに言う言葉として、もっともよいものを次から選び、記号で答えなさい。

A 母のつかいでまいりました。母は、祖母がけをしたためそちらへ行かなければならなくなり、うかがうことができなく、申し訳ありませんと申しておりました。

I 母のおつかいでまいりました。母は、祖母がけをしたためそちらへ行かなければならなくなり、来られなくなりました。

U 母のおつかいでまいりました。これが、セーターです。

E 母のおつかいでまいりました。母は、祖母がけをしたためそちらへ行かなければならなくなりました。うかがうことができなく、申し訳ありませんとおっしゃっていました。

()



第1回

説明文(1)

日 分 分
月 時 時

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ところで、ずんぐりした体型のダンゴムシにも上半身と下半身の区別がある。と言うと、まさか、と不思議に思われるかもしれないが、これがちゃんと区別できるのである。これを目で確かめるには飼ってみるに限る。飼育ケースの外からそつと根気よくながめてみると、①それが理解できるときがやってくる。

ダンゴムシは親虫になるまでに、何度も何度も脱皮を繰り返して成長していく。その脱皮のときに、驚くなかれ、上半身と下半身を別々に脱いでいくのだ。A、頭を含めた五つの節である体の前半分が白っぽくなる。

B、脚を前に揃えてバンザイをするような姿勢で脱皮していく。これがまたセーターを脱ぐように見えたりする。すなわち、これが上半身というわけである。数日後、今度は、残りの後ろ半分が白っぽくなる。そして脚を後ろに揃えて、あたかもズボン脱ぐように、皮を後ろにしごいていく。これが下半身である。以前、ダンゴムシについて何も知らなかったころ、体半分が白くなったものを見て、恥ずかしいことに病気の個体だとばかり思っていた。

ダンゴムシは、こていねいにも、脱皮後の白い皮を、小さい口でもぐもぐ食べてしまう。なんと行儀のよい生き物だろうか。飼育器の中に脱皮殻が散乱していないわけである。

(1) 線①「それ」とは、何を指していますか。「ーこと」と続くように文中からぬき出しなさい。

(2) A・B にあてはまる言葉を次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア ところで イ あるいは ウ やがて エ しかし
オ まず

A () B ()

(3) ダンゴムシの上半身とは、どの部分のことですか。それを説明した次の文の [] にあてはまる言葉を、文中から九字でぬき出しなさい。
ダンゴムシの上半身とは、 [] である体の前半分のことである。

() ()

(4) ダンゴムシが下半身の脱皮をする様子を、筆者は何にたとえて説明していますか。「ーように」と続くように文中から六字でぬき出しなさい。

() () ように

(5) この文章で、筆者が最も言いたかったことは何ですか。次から選び、記号で答えなさい。

- ア ダンゴムシは親虫になるまで、脱皮を繰り返すこと
- イ ダンゴムシには上半身と下半身の区別があること
- ウ ダンゴムシは脱皮する前に、白っぽくなること
- エ ダンゴムシは、脱皮した白い皮を食べてしまう行儀のよい生き物であること

() ()



第1回

説明文(2)

日 分
月 時 分
時

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

一昔前までは、道路は「①往来」とよばれ、歩行者とせいぜい自転車が往来する、わたしたちの暮らしのための場所でした。

「外であそんでいらつしやい。」

と、お母さんは、子どもたちにいいました。外とは、道のことを意味していたのです。道は、子どもたちのかけがえのないあそび場でもありました。

屋台のお店がならぶとき、道はマーケットになりました。家の前にえん台をおけば、夕すずみの場所になりました。お客さんとお茶話をする応接間にもなりました。道はお母さんたちの井戸ばた会議の会議場であり、また近所のおじさんたちがあつまって、立ち話をする広場でもありました。道はそれほどに、わたしたちの暮らしのすみずみとむすびついていたのです。

その道が、いつのまに、**A**場所にかわってしまったのでしょうか。ならんで歩いても、立ち話してもいけない場所になってしまったのでしょうか。自動車が走るようになってから、**②**道はすっかりかわったのです。

(1) 線①「往来」と同じ意味の言葉を、文中から五字でぬき出しなさい。

()

(2) 一昔前の道路は、わたしたちにとってどんな場所でしたか。それを表す言葉を文中から九字でぬき出しなさい。

()

(3) この文章では、「道路」がいろんな場所にかわる例をいくつかあげてあります。次のようなときに、道路はどんな場所にかかりますか。あとから選び、それぞれ記号で答えなさい。(二つあるものは二つ答えなさい)

- ① 子どもたちがあつまるとき
- ② 屋台のお店がならぶとき
- ③ えん台がおかれたとき
- ④ お母さんたちがおしゃべりするとき
- ⑤ 近所のおじさんがあつまるとき

- ア 夕すずみの場所
- イ 井戸ばた会議の会議場
- ウ あそび場
- エ マーケット
- オ 立ち話をする広場
- カ 応接間

- ① ()
- ② ()
- ③ ()
- ④ ()
- ⑤ ()

(4) **A**にあてはまる言葉を次から選び、記号で答えなさい。

- ア 通ってはいけない
- イ 通ってもよい
- ウ あそんではいけない
- エ あそんでもよい

()

(5) 線②「道はすっかりかわった」とありますが、その原因となったものは何ですか。文中から三字でぬき出しなさい。

()



第1回

物語文(1)

日 分
月 時 分
時

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

図画の時間、一枚の白い画用紙が手渡され、「一番大切なものを描きなさい」という課題が出た。僕は、図画が得意だったので、張りきっていたのだが一番大切なものが見つからなかった。

早い子は、五分もすると描き出した。お父さんを描く子、友だちを描く子、宝物を描く子、いろいろだった。Aには、大切なものはたくさんあったが、一番となると決められなかった。二十分がたち、三十分がたち、B、あと十分になった。①僕の目には涙が浮かんだ。みんなは、描けなくて泣いたと思っただろうが、そうじゃない。一番大切なものが、決められなかったからなのだ。

終了後、担任の先生が来て、こういった。
「けんじ、描けなかったのか」
僕は、うつむいたまま黙っていた。

「まあ、むりに描かなくてもいいさ。なにも描かないでおくことも、②それはそれで大切なことだ。なにもしないほうがいいことだってあるからな」先生は、そういうと僕の頭をC叩いた。

③真っ白な画用紙が、やけにまぶしく見えた。

(1) A にあてはまる登場人物を次から選び、記号で答えなさい。

ア 先生 イ となりの席の子 ウ 僕 エ みんな

(2) B にあてはまる言葉を次から選び、記号で答えなさい。

ア また イ とうとう ウ さらに エ もうすぐ

(3) 線①「僕の目には涙が浮かんだ」のは、どうしてですか。文中から二十字以内でぬき出しなさい。

(4) 線②「それ」は何を指していますか。文中から十二字でぬき出しなさい。

(5) C にあてはまる言葉を次から選び、記号で答えなさい。

ア だかどかと イ ばたばたと
ウ ほこほこと エ ぼんぼんと

(6) 線③「真っ白な画用紙が、やけにまぶしく見えた」には、「僕」のどのような気持ちが表れていますか。「僕」の気持ちを説明した次の文の□にあてはまる言葉をあとから選び、記号で答えなさい。

図画の時間に、一枚の白い画用紙を手渡され、「一番大切なものを描きなさい」という課題を出されたが、結局何も描くことができなかった。それに対して、先生は「僕」をおこらずに「なにもしないほうがいいことだってあるからな」とはげましてくれ、真っ白な画用紙を□思えるようになった。

ア 悲しく イ せつなく ウ ほこらしく エ わざとらしく